



校長室インフォメーション「あしのこ」

葦の子

下野市立古山小学校
校長室通信
平成27年度 NO. 4
平成27年7月14日
発行責任者 阿嶋 敬一

栃木県版学力調査結果概要の報告

平成27年度とちぎっ子学習状況調査結果（古山小の概要）

第4・5学年対象に、昨年度から県教委が主体となって実施している栃木県版の学力調査である「とちぎっ子学習状況調査」を行いました。その結果が県教委より送付されましたので、本校の平均正答率等を速報としてお知らせいたします。今後は、この結果をより詳細に分析して指導の改善を図り、さらに確かな学力の向上に努めてまいります。

- 実施日：平成27年4月21日（火）
- 実施学年：第4学年・第5学年 ※テスト問題や個人の結果が返却されています。
- 実施教科：国語・算数・理科の3教科
それぞれの教科の問題は、「基礎・基本」、「思考・判断・表現」に分けられます。

【学力調査】結果（栃木県平均正答率との比較）

- ☆ 大きく上回ってる。（10ポイント以上） ◎ 大きく上回ってる。（5ポイント以上）
- 上回っている。（1ポイント以上5ポイント未満） — 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている。（1ポイント以上5ポイント未満） ▼ 大きく下回っている。（5ポイント以上）

（1）教科全体の比較（県平均正答率（％）との比較）

4年生	国語	算数	理科
教科全体	◎	◎	◎
5年生	国語	算数	理科
教科全体	○	—	—

（結果の概要）

- ・4学年は、全ての教科で栃木県平均正答率より5ポイント以上大きく上回っている。
- ・5学年は、国語が栃木県平均正答率を上回り、算数と理科は同程度である。

（2）「基礎・基本」、「思考・判断・表現」別の比較（県平均正答率（％）との比較）

4年生	国語	算数	理科
基礎・基本の問題	○	◎	◎
思考・判断・表現の問題	◎	◎	○
5年生	国語	算数	理科
基礎・基本の問題	○	—	—
思考・判断・表現の問題	—	○	○

（傾向）

- ・4学年は、国語は思考・判断・表現の問題、算数は両方、理科は基礎・基本の問題が大きく上回っている。
- ・5学年は、国語は基礎・基本基礎の問題、算数、理科は思考・判断・表現の問題が上回っている。

(3) 領域別の比較（県平均正答率（％）との比較）

国語	4年	5年	算数	4年	5年	理科	4年	5年
話すこと・聞くこと	—	—	数と計算	◎	—	物質・エネルギー	○	▽
書くこと	◎	▽	量と測定	◎	▽	生命・地球	◎	—
読むこと	○	○	図形	☆	○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	◎	○	数量関係	◎	—			

学習意欲等の「児童質問紙調査」につきましては、現在分析中ですので、後日改めて発信させていただきます。

（領域別の傾向）

- ・4年国語では、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が県平均正答率より大きく上回っている。「話すこと・聞くこと」は同程度である。
- ・5年国語では、「書くこと」が県平均正答率より下回り、「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は上回っている。「話すこと・聞くこと」は同程度である。
- ・4年算数では、どの領域とも県平均正答率より大きく上回っているが、特に「図形」が大きく上回っている。
- ・5年算数では、「量と測定」が下回り、「図形」が県平均正答率より上回っている。あとは同程度
- ・4年理科では、2つの領域とも県平均正答率より上回っている。
- ・5年理科では、「物質・エネルギー」の領域が県平均正答率より下回っている。

《平均正答率が50％程度または50％以下（半数以上が不正解）であり課題と考えられる問題の内容》

- 4年国語の「作文」の問題（県の平均正答率も50％以下）
- 5年国語の「話し合いの内よりの聞き取り」、「発表原稿の作成」、「作文」の問題
- 5年算数の「折れ線グラフと表」の問題
- 5年理科の「金属、水、空気と温度」、「電気のはたらき」、「人の体のつくりと運動」の問題

【児童生徒質問紙調査】から「インターネット等の使用について」

本調査は教科に関する調査意外に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査を実施しています。その中に次のような質問があり、県教育委員会のホームページに栃木県全体の結果が公表されておりました。同じ質問に対して古山小の4・5学年の結果が下の表の通りです。

②「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、けいたい電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていますか。（けいたい電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間をのぞく）」の質問に対して回答した児童生徒の割合（％）

※ H26調査結果については、質問内容が異なるため示していない。

学年	4時間以上	3時間以上4時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	持っていない
小学校第4学年	2.7	1.8	2.7	4.0	6.2	23.7	58.7
小学校第5学年	1.9	1.4	2.6	4.4	6.1	24.6	58.9
中学校第2学年	5.6	4.5	9.3	11.9	11.2	17.0	40.5

古山小4学年	3.4	2.3	3.4	1.1	3.4	24.1	62.1
古山小5学年	2.6	0.0	1.3	5.1	7.7	25.1	57.7

- 古山小の4・5学年とも、4時間以上の使用の割合が県全体の平均より高くなっている。
- 2時間以上の使用については、古山小4学年で9％以上、古山小5学年で4％程度の児童が回答している。多いでしょうか、少ないでしょうか。
- ※ 携帯電話やスマートフォンの所持も含めて、ネット社会における適切な使用方法について更に考えていかなければならないと思います。

※栃木県教育委員会事務局「学力向上推進室」のHPを参照しています。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/tochigikko.html>

※本調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であり、また学校における教育活動の一側面です。今後は、更に詳細な分析を行い、その分析結果を日常の学習指導の工夫改善等に生かしていきます。

- ※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。古山小学校HPアドレス <http://www.school.shimotsuke.ed.jp/koyama/top.htm>